

2026 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	青柳 寛
演習テーマ	「生きざま」の民族誌
内容と 卒業論文の 指 導 方 針	前年度のゼミ（演習 2）で得られた基礎的な知識とアカデミックスキルを活用しながら「生きざま」に関わる独創的なオートエスノグラフィック・リサーチを企画し、フィールドワークを経て卒論の編纂に取り組む。
メールアドレス	aoyagihr@k.meijigakuin.ac.jp
オフィスアワー	原則アポイントメントにより昼休みを活用
授業概要	民族誌－殊に auto-ethnography－の要領を踏まえ、独自のフィールドに通じながら、発見の show-&-tell から、調査の経過報告、そして論考のプレゼンテーションへと卒論研究の成果を具現化していく。
学習目標	民族誌の手法を応用した学術的な探究の錬金。
授業計画	ゼミ 3A（前半・春学期） 起の段：独自探究の構想から卒論研究の企画へ 承の段：フィールドワークの計画構成 ➡ Summer Fieldwork に備える ゼミ 3B（後半・秋学期） 転の段：夏休みを経て調査成果をまとめ、卒論草稿を組み立てる 結の段：生きざま民族誌を完成に向けて本格的に編纂する ※各段階においてゼミ内で懇談と成果発表を繰り返し、学識を養いながら、自身の卒論研究を錬金いただきます。
予習	進行状況に応じて次題目を先見し、関連情報を検索しておく。
復習	演習の内容を振り返り、得られた学びを自身の思索・考察および発展的な検索や探究と併せて卒論にとりまとめる。
授業に関する 注意事項	熱意と地道な努力がものをいいます。各段真摯にとり組み、卒論に限られない知的な自己達成を目指してください！
教科書	佐藤郁哉『フィールドワークの技法』
参考書	各自の研究テーマに合わせて随時指定する。
成績評価の基準	1) 参画（50%）、探究ノート（50%）
関連 URL	https://fis.meijigakuin.ac.jp/about/staff/aoyagihiroshi/
認定留学期間中の 遠隔指導	可 / 否 / その他(認められる事情に限って可とする)
備考	強い目的意識と達成意欲を発揮しながらゼミの運用にご参画ください！